第 120 回島尻地区中学校バレーボール強化大会開催時の

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

島尻地区バレーボール専門部

【大会を運営する上での専門部の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策】

１．３密を回避及び感染対策のために

(1) 大会会場(体育館内)への入館は、監督、コーチ、マネージャー、大会関係者(引率教諭・管理職・審判員を含む)、試合のあるチームの生徒及び試合のあるチームの保護者５名とし、大会参加者は常時 ID を首から下げ、入館の際は検温と手指消毒を各自で必ず行う。
(2) 開館後に行っていた２試合目以降のチーム練習は行わない。
(3) 開閉会式は行わない。表彰式は５位決定戦、準決勝、決勝終了時に同コートにて行う。
(4) ベンチは背中合わせにしないようにする。
(5) ベンチの椅子は間隔をあけて 5 脚まで設置できる。コートチェンジの際は持って移動する。
(6) ２試合目以降は両チームが揃って２０分後にプロトコールを行う。試合間で器具や備品の消毒を行い、他チームとの接触を極力無くすようにする。
(7) 試合開始、終了後の選手・顧問同士、審判との握手はしない。エンドラインでお辞儀を行う。
(8) ギャラリーでの観戦は、当該校の試合のみ認められる。観戦者は互いの間隔を十分に取る。声を発しての応援は禁止する。当該試合が終了したら、速やかに体育館外に退場する。
(9) 選手の待機場所は、換気の良い屋外でチーム毎、密にならないように設置する。また、昼食時は向かい合わず、一方向を向き、黙食する。
(10) 他チームとの交流や接触は極力避ける。
(11) 入場は、消毒などの作業が終わり次第、審判が合図を出す。審判の合図は各チームとも 1 人で聞くようにして、他の選手は密にならないようにして待機場所で待つ。退場は、1 チームずつ退場できるように審判で合図を出す。※入退場の際の密や接触を回避する。
(12) 体育館外（窓など）から試合を観戦することは禁止する。
(13) 選手が試合の為に体育館に入場する箇所はできる限り分散させる。
(14) 原則として換気のため、体育館の窓は終日開放する。
(15) 各会場に感染対策担当を配置し、感染対策の徹底及び情報の集約に努める。各学校の顧問はチームの感染に関する情報を感染対策担当に随時報告する。

２ 消毒について

(1) 会場出入り口に消毒用アルコールを設置し入退場の際には手指消毒を行う。
(2) ボールやジャッジフラッグなど不特定多数で使用する器具等は 1 試合ごとに消毒を行う。
(3) ボールやボールかごなど会場に持ち込む用具等は、入館前に各チームで消毒を行う。
(4) 試合終了後は利用したチームでベンチの消毒を行う。※各チームでアルコール消毒用のスプレーやペーパータオルなどを準備する。
(5) 各チームの撮影者は、コートチェンジや試合終了後、撮影場所を離れる際は消毒を行う。

【各チームでの新型コロナウイルス感染症拡大防止対策】

●以下の①～⑦について取り組む。

①島尻地区中体連主催（共催）大会等開催時ガイドラインガイドラインを熟読する。
②様式１：同意書の提出
③大会前２週間の健康状態チェック（健康状態チェックシートへの記入、提出）
④様式２：大会当日のチェックシート（生徒用）
⑤様式３：健康状態申告書（大会運営者、関係者）
⑥様式４：健康状態申告書（保護者救護係用）
⑦様式６：健康状態申告書（保護者）
※専門部、各学校顧問は提出書類を大会終了後１ヶ月間保管する。
※様式１(同意書)、様式２～６(チェックリスト)は「島尻地区バレー専門部ＨＰ」に載せています。大会名を入力して活用してください。

●保護者へ以下のことを周知し、徹底する。

【保護者】
・保護者は救護・生徒管理係とする。健康状態申告書を提出し、ＩＤカードを首から下げる。
・保護者は１チーム５名まで会場敷地内及び体育館に入れる。但し、声を発しての応援など飛沫の可能性を高める行為に関しては禁止とする。そこでの撮影は可能（ホームページやブログ、ＳＮＳ、動画投稿サイトなどインターネット上にアップロードしないこと）。密を避けるため、体育館内での観戦はその試合をしているチームのみとする。
・体育館外（窓など）から試合を観戦することは禁止。
・中学生未満の幼児、児童は会場内に連れてこない。
・会場における交通誘導や密を回避する為、会場校の保護者に協力を求めることができる。その際は必要人数とするが、館内への入館や試合の観戦については他のチームと同じ条件とする。

●下記に該当する場合は参加を認めない。

（１）学校が臨時休校中や学年、学級閉鎖中である。
※学年、学級閉鎖中の場合は当該学年、学級の選手の参加を認めない。
（２）大会当日の検温と風邪症状の確認において、発熱などの風邪症状（37.5℃以上の発熱や咳、呼吸困難、全身倦怠感、味覚障害、臭覚障害など）がある場合。
（３）同居家族やチーム・職場に感染が疑われ、PCR 検査（抗体検査）を受け、検査結果が確定していない場合。
※保健所の判断に時間がかかる場合は、学校長判断に任せる。
（４）感染が確認された人との濃厚接触者である。または、濃厚接触者の疑い（未確定だがその可能性）がある場合。

【感染対策担当の役割】

１．感染対策を徹底するため

(1) 大会当日の監督会にて、各チーム及び各学校の感染状況の確認を行う。
(2) 大会当日の監督会にて、大会期間中におけるガイドラインや入退場の方法を確認する。
(3) 大会当日の会場における感染対策（出入口、消毒、窓の開放など）の確認を行う。
(4) 大会関係者の健康状態申告書のチェック。

２．感染に関する情報の集約のため

(1) 各会場における感染に関する情報の集約。
(2) 各会場における感染に関する情報を随時、地区専門部長へ報告を行う。
(3) 地区専門部長は報告を受けた場合、関係機関（地区中体連及び関係学校等）に連絡を行う。

●各提出物の提出先及び保管担当、保管期間

提出物	提出先	保管期間	保管担当
同意書の提出	各学校の顧問	１ヶ月	各学校の顧問
大会前２週間の健康状態チェック	各学校の顧問	１ヶ月	各学校の顧問
大会当日のチェックシート（生徒用）	各学校の顧問	１ヶ月	各学校の顧問
健康状態申告書（大会運営者、関係者）	会場の感染対策担当	１ヶ月	会場校
健康状態申告書（保護者救護係用）	各学校の顧問	１ヶ月	各学校の顧問
健康状態申告書（業者など）	会場の感染対策担当	１ヶ月	会場校